

つるみ在宅ケアネットワーク 第17回公開勉強会 報告書

日時 令和3年11月20日(土) 14:00~15:30

場所 鶴見区医師会 3階会議室+Zoom セミナー研修

14:00 開会の辞

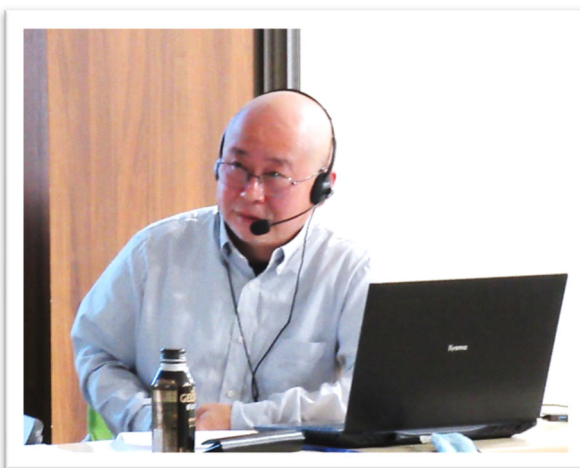
鶴見区医師会 理事長  
芝山 幸久 医師



鶴見区役所 福祉保健センター長  
市川 裕章 氏



14:10 講師紹介



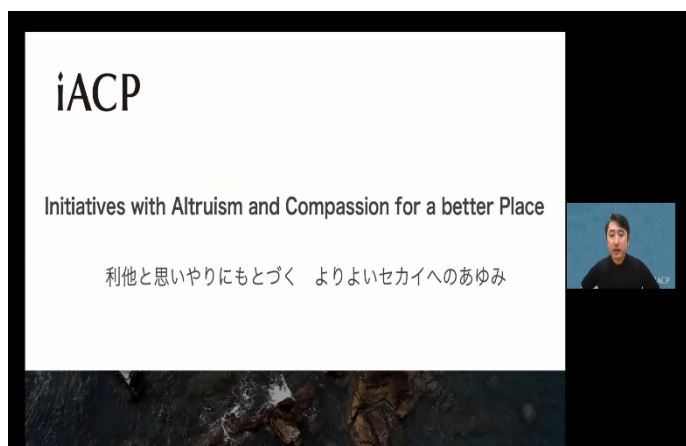
司会・座長 : 在宅医療連携拠点担当  
佐藤医院 院長  
佐藤 忠昭 医師

14:15 講演

テーマ：「人生会議のきっかけづくり」

もしもの時を話し合ってみませんか？

講師：iACP 理事／ 医療法人社団 はな 理事長 原澤 慶太郎 医師



講演内容の一場面  
iACP について



講演中の事務局風景

講演の内容

- ・ iACP について：利他と思いやりにもとづくよりよいセカイへのあゆみ
- ・ COVID-19 で世界はどう変わったか
- ・ 意思決定支援の現状
- ・ ACP とは
- ・ 人生会議の 5 つの要素
- ・ もしバナゲームとは……実際のもしバナゲームの動画

亀田総合病院：iACP スタッフ

鶴見区医師会医師 2 名と

鶴見大学歯学部附属病院歯科医師 1 名

- ・ 真の多様性とは
- ・ 意思決定支援の問題点
- ・ 責任と帰責性について
- ・ ネガティブ・ケイパビリティについて
- ・ 患者中心の医療の方法
- ・ 疾患と病……ケアの焦点の違い
- ・ 人によって ACP の解釈が異なる（それが問題。。。）……点・線・面・立体的に・多声的に（多声性,縦糸と横糸）・メタ的にとらえる
- ・ 対人援助の基礎……関わった瞬間から援助者自身も対象者の問題の一部
- ・ まとめ

15:05～15:30 質疑応答

7つの質問が寄せられました。

今回はオンライン参加者にチャットでご質問をいただき応答する形にさせていただきました。

15:30 閉会の挨拶

鶴見区医師会 在宅医療連携拠点担当医 佐藤 忠昭 医師

参加者総数 74 名（講師含む 内 11 名以外はオンライン）

医師：10 名 歯科医師：2 名 臨床工学技士：1 名 薬剤師：2 名  
病院看護師：4 名 訪問看護師：28 名 地域包括支援センター：2 名  
ケアマネジャー：7 名 社会福祉士：1 名 PT：1 名 OT：1 名  
市民：4 名 行政：4 名 事務：5 名 在宅医療連携拠点相談員：2 名

\*後日 ホームページにて動画を配信予定